

### 第26回平和のための戦争展開催にあたって

1984年(昭和59年)手さぐりで始めた「しながわ平和のための戦争展」は、今年で26回目を迎えました。その間、地域の多くのかたがたにご支援いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

今、日本国憲法の平和的条項が次第になしくずしにされ、いまや、日本は戦争する国に変わろうとしています。一方で、憲法9条改定に反対の声が再び過半数を超えるなど国民の平和への願いの強さを見る思いです。

今回は、「戦争と子ども」をテーマに「常に子どもは戦争の最大の犠牲者であった」事実を見つめ、核兵器のない平和な21世紀にしていくために、みなさまとともに平和を守る人々の輪を広げて生きたいと考えています。

しながわ平和のための戦争展実行委員会

15日(土) 13:30~

#### コカリナ<品川コカリナアンサンブル>

コカリナは自然の木で作られた楽器です。手のひらにのるこの小さな笛が「小鳥たちも人間も仲間だよ」と呼んでいるようです。コカリナの温かい音色が「平和の響き」となっていけたらと思っています。

曲目は「私の子どもたちへ」「青い空は」「埴生の宿」「故郷」ギター伴奏 嶋田昭治さん

#### 証言

「ソ連参戦による体験から」 三井敏雄さん

「武蔵小山満蒙開拓団として」 富清ていこさん 飯白栄助さん

ギター演奏と弾き語り 高橋光男さん

音楽活動歴35年の自称シンガーソングライター。軍隊のない国27カ国の旗を手書きしました。

「希望の国の歌」「ぼうや大きくならないで」「いないもの、いないことば」

「ヒーロー」「鳥のように」「プラビーダ・コスタリカ」「憲法9条の唄」など

16日(日) 13:30~

#### 朗読 朗読集団「風」 岩城津千子さん、針谷紀美江さん、南恵子さん

品川・八潮の地域に根ざして詩の朗読を続けています。今回は、「戦争と子ども」をテーマに下記の8編の詩を朗読します。

- ・戦争中の子どもを題材にした詩・戦後40~50年経た日本の小学生の詩、
- ・イラクの子どもが書いた詩

#### 証言

品川の学童疎開体験を語る 北川菅雄さん他



しながわ 2009年 第26回

# 平和のための戦争展

## 戦争をする国にさせないために



とき 8月13日(木)~16日(日)

10時~19時30分(16日は17時まで)

ところ 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

京浜東北線・大井町線 大井町下車 徒歩1分

主催 しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先 03-5742-7563(西條明子) 03-3727-8382(扇谷道子)

## 戦時下の教育

戦前から戦中にかけての学校教育の目的はなんだったのでしょうか。とりわけ60余年前の国民学校といわれる時代（1941年～1945年）の教育は？当時の教科書などもご覧いただきながら、戦争に勝つための教育の恐ろしさに思いを馳せてください。

## 戦時植民地支配下の子どもたち（韓国併合の下で）

1910年日本は「韓国併合」によって36年間にわたって朝鮮を植民地として支配してきました。日本は「内鮮一体」を掲げて皇国臣民化政策をとり、神社参拝、皇居遥拝の強制、日本語による教育、創氏改名、志願兵から徴兵制度へと、その政策を強化していきました。また、日本の政策によって土地を奪われた人々は仕事を求めて渡日し、強制連行なども含めてその数は次第に増えてきました。このような中で子どもたちはどんな日々を過ごしたのでしょうか。

## 学童疎開65周年一人形が語る品川の学童疎開

学童疎開を知っていますか？昭和16年（1941）尋常小学校は、国民学校と名称を変え、子ども達は「少国民」と呼ばれて「皇国民教育」を教え込まれました。戦局の悪化に伴って「防空の足手まといを無くし次期戦力の温存」を目的に学童疎開が始まりました。今年はその65周年にあたります。品川の学童疎開の様子を、人形や当時の子ども、教員の日記などから想像してください。

## 東京大空襲と戦争孤児

東京大空襲で大勢の子どもが孤児になりました。親元を離れて地方に学童疎開や縁故疎開をしていた子どもたちが生き残ったのです。家族を失った戦争孤児たちは、どのように生き、亡くなっているのでしょうか。国や行政からの援助は64年間一切ありませんでした。戦争孤児への差別と偏見による過酷な人生は、晩年を迎えています。

## 満蒙開拓団の子どもたち

日本軍の撤退、ソ連軍侵入、ソ満国境に残された開拓団の人々は「死の逃避行」を余儀なくされました。死と隣り合わせの日々、せめて子供だけは助かってほしい。生きぬいてほしい。追いつめられた母親たちは幼子を中国の大地に残しました。「中国残留孤児」はこうして生まれました。



## 原爆と子ども

原爆のために家族を失い孤児になった子ども、子どもと片親だけ残された子ども。病気になっても治療もなく苦しむ子ども。父か母だけ生きていても原爆症のために働くこともできず、生活保護を受けても食事に事欠き学校へも行けない日々。そんな現実に向き合って、子どもたちは生き抜いてきたのです。

## イラク戦争と子ども

「私たちは子どもの権利を守るために闘い、ここに集まっている。戦争とテロの最大の犠牲者は子どもたちだ。子どもの権利実現を阻んでいる原因は社会にある」イラク子ども保護センター責任者アザド・アフメドのあいさつより。このイラク子ども保護センターから贈られたイラクの子どもたちの絵（コピー）を展示します。また、大手メディアの伝えない、占領下のイラク市民の実態に光を当て続けるイラクSANA衛星テレビ局の番組から国内難民になったイラクの人々も紹介します。



## 9条を世界に核兵器のない世界に向かって

オバマ大統領がプラハで核兵器廃絶を世界に向かって呼びかけた演説は、世界から歓迎されました。2大核保有国が核の大幅削減に合意し、米ロ英の核保有国を含むG8が、ラクイラサミットではじめて核廃絶の目標に合意するなど、核のない世界に向かった動きが始まり、また、非核地帯やアジアからの平和の流れも広がってきています。9条の理想を選び始めている世界を展示からも見つめてください。

## 平和に託す平和の心

書を学ぶ仲間が心をつにして書いた「憲法九条」です。これは、井上ひさしさんが書かれた「子どもに伝える日本国憲法」の中の「第九条」です。小学生にも読めるようにやさしく書いた本に、いわさきちひろさんの絵が入り、詩の絵本のような素敵な本です。私たち書友も、平和を願う心を筆に込めて一行ずつ分担して心をこめて書き上げました。

## 品川平和マップ

品川に残る戦争遺跡と、平和を願って建てられた記念碑を品川区の地図とともに展示しました。知らないで通り過ぎていたところにこんなものが…。平和を願って歩いてみてください。他にもあったら教えて下さい。

2009年 第26回

# しながわ平和のための戦争展

## 戦争をする国にさせないために

時:8月13日(木)14日(金)15日(土)16日(日)

時間:10時~19時30分(最終日は17時まで)

会場:品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

大井町線・京浜東北線大井町駅下車1分

内容: 戦争と子ども

入場無料

戦時下の教育・植民地支配下の子ども・  
学童疎開 65周年一人形が語る品川の学童疎開・  
東京大空襲と戦災孤児 ・満蒙開拓団の子どもたち  
原爆と子ども ・ アフガン、イラク戦争と子ども  
9条を世界に 核兵器のない世界に向かって  
書道で平和への願い

主催: しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先: 西條明子 TEL03-5742-7563 Fax03-3775-7883 扇谷道子 TEL/Fax 03-3727-8382

### 催し

\* 15日(土) 13時30分~15時

コカリナ演奏

ギター演奏と弾き語り(高橋光男さん)

戦争体験を語るI(満蒙開拓団を体験した方)

\* 16日(日) 13時30~15時

朗読集団「風」詩の朗読

戦争体験を語るII(学童疎開を体験した方)



\*皆さんの募金で  
開催しています。  
募金をお願いします。

\*設営や受付、片  
付けなどに協力頂  
ける方を募集して  
います。

\*ビデオ「おこりじそう」大型絵本「峰雄君の夏」など随時上映

2009年 第26回

# しながわ平和のための戦争展

戦争をする国にさせないために

時:8月13日(木)14日(金)15日(土)16日(日)

時間:10時~19時30分(最終日は17時まで)

会場:品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

大井町線・京浜東北線大井町駅下車1分

内容: 戦争と子ども戦時下の教育・植民地支配下の子ども・  
学童疎開65周年—人形が語る品川の学童疎開・東京大空襲と戦  
災孤児・満蒙開拓団と子ども・原爆と子ども・イラク戦争と子  
ども・9条を世界に・核兵器のない世界へ・書道で平和への願い

15日(土)13:30~

コカリナ演奏・ギ

ターと弾き語り

満蒙開拓団証言

16日(日)13:30~

朗読集団「風」

学童疎開探検証言

他にビデオ、紙芝居

主催:しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先:西條明子Tel03-5742-7563 扇谷道子TelFax 03-3727-838.

